

ALPHA • OMEGA ΦOTON

OWNER'S MANUAL

QUICK START GUIDE	3	BASIC OPERATION	7
CONNECTIONS	3	プリセットの編集と保存	7
INPUT	3	TUNER	8
AUX IN	3	BYPASS	8
HEADPHONE OUTPUT	3	パフォーマンス・ロック	8
BALANCED OUTPUTS	3	BLUETOOTH ペアリング	9
DIRECT OUTPUT	4	USB オーディオインターフェース機能	9
MIDI IN	4	USBオーディオドライバーの設定	9
USB	4	USBオーディオシグナルルーティング	9
SIGNAL CHAIN	4	DARKGLASS IR ライブラリー	10
BLOCK DIAGRAM	4	TECHNICAL SPECIFICATIONS	10
COMPRESSOR	5		
DISTORTION	5		
CABINET SIMULATION	5		
BLEND	5		
EQ	5		
CONTROLS	6		
SMART POTENTIOMETERS	6		
TOUCH SENSITIVE SLIDERS	6		
ROTARY FOOTSWITCH ENCODERS	7		

QUICK START GUIDE

楽器を1/4"インプットに入力してください。

適合したアダプター(9V センターマイナス/500mA以上)を接続してください。

以下のいずれかの方法で出力の接続を行って下さい。

- ・ヘッドフォンをヘッドフォンジャックに接続
- ・USBケーブルでPC/macに接続
- ・ギターケーブルでアウトプットからアンプに接続
- ・XLRケーブルでDIRECT OUTPUTからミキサーやオーディオインターフェースに接続

Alpha・Omega Photonにはあらかじめ3つのプリセットが保存されており、A/B/Cのフットスイッチを押してプリセットを切り替えます。それぞれのフットスイッチを2秒間長押しすることで、プリセットの変更内容を保存可能です。3つのプリセットには、MIDIやDarkglass Suiteからもアクセスすることができます。

Levelをコントロール(必要に応じてヘッドフォンボリュームも調整)してお好みの音量に設定し、演奏を楽しんでください。

※Alpha・Omega Photonをとして使用する場合は、OSに応じてさらに設定を行う必要があります。

CONNECTIONS

INPUT

Alpha・Omega Photonのメインのインプットです。この1/4" モノジャックに楽器やペダルからのアウトプットを接続してください。

AUX IN

この1/8" ステレオインプットを使用して、練習やレコーディング中にバックトラックを再生することができます。スマートフォンやノートPCなどを接続することができます。

HEADPHONE OUTPUT

ヘッドフォン出力は、16~600Ωのインピーダンスのヘッドフォンに対応しています。ヘッドフォンを1/8" ステレオジャックに接続し、ジャック横のボリュームコントロールで音量をコントロールしてください。

BALANCED OUTPUTS

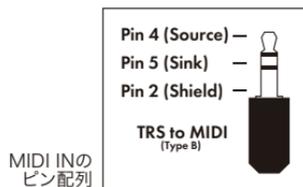
ルーティングの多様性をもたらす2つのバランスアウトプットにより、一般的なオーディオインターフェースとしての機能も兼ね備えています。TRSコネクター(Tip +/Ring -/Sleeve GND)を備えたバランスケーブルを使用し、スタジオモニター、アンプ、エフェクターなどに接続してください。ギターケーブルなどのアンバランスケーブルを使用することも可能です。

DIRECT OUTPUT

グラウンドリフト・スイッチを装備したXLRアウトプットは、ミキシング・デスクや外部のオーディオインターフェースへの信頼性の高い接続を提供し、ノイズへの耐性が強い信号を出力します。

MIDI IN

1/8" TRSジャックに外部MIDIコントローラーを接続すると、さらにAlpha・Omega Photonの柔軟性を高めることができます。

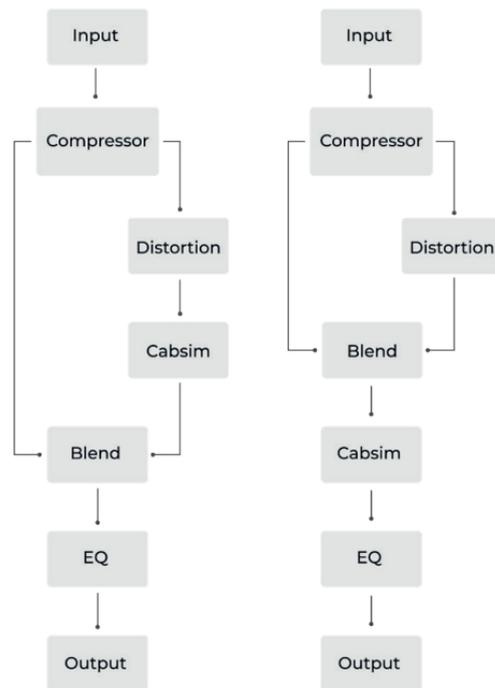


USB

USB-Cポートを使用しPCやmacと接続することでAlpha・Omega PhotonをUSBオーディオインターフェースとして使用可能です。またDarkglass Suiteデスクトップ・アプリと接続し、ソフトウェアのアップデートやIRの入替などが可能となります。また、USB MIDIにも対応しています。

SIGNAL CHAIN OPTIONS

シグナルチェーン内のCabsimブロックの位置は、Suiteから変更可能です。



Default signal chain

Optional signal chain



COMPRESSOR

コンプレッサーへの入力ゲインの量をコントロールし、信号をどれくらいコンプレッションするかを決定します。適切な量のメイクアップゲインを適用することで、どんなにコンプレッションが適用されていても常に信号が適切なレベルに補正されます。**4:1**、**8:1**、**12:1**、**20:1**、**ALL IN**の5つのレシオを設定可能です。



DISTORTION

ディストーション回路の心臓部は、Alpha・Omegaのそれを忠実に再現したものです。Jon St ockmanとの共同開発により生まれたAlpha・Omegaは、2つの異なるディストーションを持ち、それらをブレンドすることでさらに多様性を発揮します。また、おなじみのGrowlとBiteのブースト機能もあり、低音域や高音域の輝きを付加することができます。



CABINET SIMULATION

Alpha・Omega Photonはインパルスレスポンス(IR)キャビネットシミュレーションをサポートし、5つのキャビネットスロットを搭載しており、デフォルトのIRはDarkglassチームによってセレクトされたものとなっています。Darkglass Suite(デスクトップまたはモバイル)を使用して5つのスロットに新しいIRを割り当てることも可能です。

BLEND

ディストーションシグナルとクリーンシグナルをミックスします。

EQ

シグナルチェーンの最後に位置し、サウンドをさらにカスタマイズできるプログラマブル・6バンドグラフィックイコライザーです。この機能の詳細については、このマニュアルの「CONTROLS」のセクションをご参照ください。

CONTROLS

SMART POTENTIOMETERS

Alpha・Omega Photonには、**Compression**、**Drive**、**Mod**、**Blend**、**Level**の5つのスマート・ポテンシオメーターが搭載されています。これらは、Alpha・Omega Photonのシグナルチェーンと全体的なサウンドを構築するためのメインとなるインターフェースです。

COMPRESSIONコントロールは、Alpha・Omega Photonのコンプレッションを1つのノブでコントロールします。コンプレッサーへの入力ゲインの量をコントロールし適切な量のメイクアップゲインを自動的に調節することで、どんなにコンプレッションが適用されていても信号は常に適切なレベルに補正されます。

DRIVEコントロールはディストーションのゲイン量を調整します。このノブを時計回り方向に回すと、Alpha・Omegaディストーションのゲインが増加します。

MODコントロールでは、AlphaとOmegaサーキットの選択またはミックスを行います。Alphaはパンチが効いたタイトで明瞭なサウンドなのに対し、Omegaは荒々しく生々しいサウンドが特徴です。

BLENDコントロールは、ディストーションシグナルとクリーンシグナルをミックスします。

LEVELコントロールは、Alpha・Omega Photonのマスター・ボリュームをコントロールします。

スマート・ポテンシオメーターは、設定をプリセットに保存することができ、保存された位置は各ポテンシオメーターを囲むLEDのリングで示されます。

これにより、プリセットを変更する際に物理的なポテンシオメーターの設定に関わらず、シグナルチェーンの設定を一目で確認することができます。

TOUCH SENSITIVE SLIDERS

Alpha・Omega Photonの本体中央には、本機のシグナルチェーンの最後段に位置する6バンド・グラフィックEQをコントロールするタッチセンサー式のスライダーです。

各スライダーのレンジは-12dB～+12dBです。各スライダーの周波数帯は左から順に、**ローシェルフ/250Hz/500Hz/1.5kHz/3kHz/ハイシェルフ**に対応しています。また、Darkglass Suiteを使用して周波数帯を**100Hz/200Hz/400Hz/800Hz/1.6kHz/3.2kHz**に変更することも可能です。

このスライダーを上方向にスワイプすると周波数帯域をブースト、下方向にスワイプすると周波数帯域をカットします。

スワイプすると、スライダーの位置がポテンシオメーターのLEDにも反映されます。スライダーをダブルタップすると、バンドは±0dBに戻ります。

Hint: スライダーのどの部分をスワイプしても上下方向に反応するので、スライダーの実際の位置を指で覆うことなく微調整が可能です。

ROTARY FOOTSWITCH ENCODERS

タッチスライダの下側には3つのロータリーフットスイッチエンコーダーA、B、Cがあり、これらのスイッチはフットスイッチ兼エンコーダーとしてAlpha・Omega Photonの多くの機能をコントロールすることが可能です。いずれかのフットスイッチを押すと、そのフットスイッチに保存されているプリセットに切り替わります。

さらに、エンコーダーを回すと各エンコーダーの下にある5つのLEDが選択されたモードを示します。さらにその位置がポテンショメーターLEDにも表示されますが、これは視覚的な補助でありポテンショメーターの設定自体には影響しません。

- ・A を回転…コンプレッサーのレシオ(比率)の変更
コンプレッサーのバイパス
- ・B を回転…ディストーションモードの変更
ディストーションのバイパス
- ・C を回転…シグナルチェーン上のアクティブなIRの変更
IRのバイパス

5つのLEDのいずれも点灯していない場合、それぞれのコンプレッサー/ディストーション/ IRはバイパスされます。

BASIC OPERATION

プリセットの編集と保存

パラメーターのいずれか(ポテンショメーター、スライダー、エンコーダー等)が変更されると現在のプリセットのカラーLEDが点滅し、**エディット**または**オーディションモード**(まだ音作りの段階で保存されていないセッティング)がアクティブであることを示します。

オーディションモードでは、新しいサウンドや設定の試奏、保存、破棄が可能です。フットスイッチを2秒間長押しすることで、3つのプリセットのいずれかに任意のサウンドを保存することができます。保存されるとAlpha・Omega PhotonのすべてのLEDが数回急速に点滅し、エディットした内容がプリセットに保存されたことを示します。

編集・保存されていないプリセットからパラメーターを変更すると、常に新しいオーディションが開始されるため、それ以前に保存していないオーディション/エディットは上書きされます。

エディット/オーディション中にフットスイッチを押すことで、保存されている3つのプリセットのいずれかに変更することができます。プリセットに変更した後もう一度同じフットスイッチを押すと、エディット/オーディション中のセッションに戻ります。

プリセットは、Darkglass Suiteで保存、編集、共有、読み込み、管理することもできます。

TUNER

チューナーを使用する場合はBとCを同時に押すと起動します。

終了はBとCを同時に押すか、A、B、Cのいずれかのフットスイッチを押します。Alpha・Omega Photonは常に最後に選択されていたプリセットに戻ります。チューニング中はオーディオは出力されません。

Alpha・Omega Photonには5オクターブのクロマチック・チューナーが搭載されています。A0～A#5の間のチューニングが可能です。ギターやベースのチューニングを行うことができます。チューニングはA4=440Hzが基準で、一度にチューニングできるのは1音のみです。

チューナーモード時に入力信号がない場合、デフォルトでは一番右端の2つのスライダーに2つの赤色LEDが表示されています。入力信号を受信すると、スライダーの左側のセクションが更新され、チューニングしている音を表示します。

音がシャープしている場合には、右上に小さなインジケーターが表示されます。

チューニング中は一番右の2つのスライダーが更新され、その音の完全なピッチにどれだけ近づいているかを示します。LEDがセンターラインより下にある場合はフラット、センターラインより上にある場合はシャープにチューニングされていることを示します。完璧なピッチに近づくと赤色LEDが黄色に変化し、完璧なピッチになるとスライダーとプリセットLEDが緑色に点灯します。

BYPASS

バイパスモードに入るには、AとBを同時に押します。

バイパスモードを終了するにはAとBを同時に押すか、またはA、B、Cいずれかのフットスイッチを押します。

このモードでは、Alpha・Omega Photonは入力信号になんの処理も行わず、入力信号をそのまま出力します。バイパスモード時はすべてのLEDが消灯します。

パフォーマンス・ロック

パフォーマンス・ロックモードに入る場合は、AとCを同時に押しします。ロックを解除する場合も同じです。

このモード時は、すべてのLEDが点滅してAlpha・Omega Photonがロックされていることを示します。

このモードでは、誤ってパラメーターを変更したり、プリセットを編集してしまうことを防ぎます。プリセットA、B、Cを変更したり、チューナーモードやバイパスモードに入ることはできませんが、ポテンシオメーターやスライダー、エンコーダーなどの操作はできません。

Hint: ライブ演奏の際にはサウンドチェックを行った後、パフォーマンスモードを使用します。

BLUETOOTH ペアリング

Alpha・Omega PhotonとBluetooth機器のペアリングを開始するには、A、B、Cいずれかのフットスイッチエンコーダーを押しながら回転させます。各エンコーダの下側にある5つのLEDが1つずつ点灯し、5つすべてが点灯するとペアリングが開始されます。利用可能なbluetoothデバイスのリストから「Alpha・Omega Photon」を探してください。

USB オーディオインターフェース機能

Alpha・Omega Photonは様々なDAWと互換性があります。Alpha・Omega Photonでエフェクトをかけたシグナルを、あるトラックに録音し、同時に処理されていないクリーンなシグナルを別のトラックに録音することができます。AUX INからステレオトラックを同時に録音することも可能です。

Alpha・Omega Photonは、48khz/44.1kHzのサンプリングレートに対応しています。

USB オーディオドライバーの設定

Macをお使いの場合は、Alpha・Omega Photonをオーディオインターフェースとして使用するための追加ドライバーは必要ありません。

Windowsをお使いの場合は、<https://www.darkglass.com/suite/>から最新のUSBオーディオドライバーをダウンロードしてください。

USB ルーティング

USBアウトプット (Alpha・Omega Photon上の出力)

Output 1: Balanced left + Headphone left
Output 2: Balanced right + Headphone right
Output 3: Balanced left
Output 4: Balanced right
Output 5: XLR DI (mono)

Mac と PC の両方で、デフォルトではシステムオーディオを出力 1 と 2 に送っているため、余分なルーティングを設定することなく常に Alpha・Omega Photon のステレオ出力を使用することができます。

これらの出力のレベルは、Alpha・Omega Photonの上部にある小さなボリューム・ポテンシオメーター(ヘッドフォンボリューム)でコントロールが可能です。他の出力には、Alpha・Omega Photon上にボリュームコントロールはありません。

USBインプット(Alpha・Omega Photon 上の入力)

Input 1 : Alpha・Omega Photonのエフェクトを通ったシグナル
Input 2 : Alpha・Omega Photonのエフェクトを通っていないシグナル

Input 3 : Aux left + Bluetooth left

Input 4 : Aux right + Bluetooth right

オーディオルーティング

Alpha・Omega Photonがバイパスされていない場合、Levelポテンシオメーターは常にインストールメントインプットのボリュームをコントロールし、USB/AUX/Bluetooth オーディオには影響しません。Alpha・Omega Photonがバイパスされている場合、Levelポテンシオメーターは何にも影響しません。

インストールメント、AUXインプット、Bluetoothのオーディオはヘッドフォンとバランスアウトプットにルーティングされます。これらの出力のメディアボリュームは、Alpha・Omega Photonの上部にある小さなポテンシオメーター(ヘッドフォンボリューム)でコントロールできます。

・バランス出力を使用する場合、メディアボリュームとインストールメントのボリュームレベルは別々にコントロール可能です(Alpha・Omega Photonの上部にある小さなボリュームポテンシオメーターと Levelポテンシオメーター)。

・ヘッドフォンを使用する場合ボリュームは同じ方法で制御されますが、1 つ例外があります: ヘッドフォンのボリュームポットは、メディアとインストールメント入力の両方の全体的なマスターボリュームとして機能します。

・XLR DI アウトプットは、インストールメント・アウトプットと USB アウトプット 5 にもみルーティングされます。

Alpha・Omega Photonのメディア再生ボリュームレベルは、USBインプット 3と4には適用されません。

DARKGLASS IR LIBRARY

Darkglass Suiteソフトウェアには、豊富なIRファイルのライブラリが付属しており、将来的には数百のファイルが追加される予定です。ライブラリはベースとギターの両方のキャビネットで構成されており、Darkglass Elite SeriesやNeodymium Seriesなどのキャビネットのキャプチャーも用意されています。Jon Stockmanを含むDarkglassアーティストもライブラリに貢献しています。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

インプットインピーダンス: 1M Ω

アウトプットインピーダンス: 220 Ω

消費電流値: ~500mA

電圧: 9VDC (センターマイナス)





Darkglass Electronics

Your vision, our gear.

FOLLOW US



——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市中白区焼山1丁目813番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp